

我が家の避難計画（凡例：風水害編）

参考資料

	行政等の情報	周囲の状況	主な備え	我が家の行動
5 ～ 2 日前	◆台風予報 ≪警戒レベル1≫	変化なし	①台風の進路・規模等を調べる	父の仕事予定：
			②災害（被害）の影響度を判断	母の予定：
			③防災グッズの準備	★母⇒懐中電灯・非常食等の確認
			④必要な薬等、1週間分の確認	★母⇒常備薬の確認
1 日前	◆大雨注意報 ◆洪水注意報 ≪警戒レベル2≫	●台風が接近 ●雨風が強まる	⑤防災リュックの確認	息子の予定：
			⑥避難時に持参するものを確認	娘の予定：
			⑦家族の予定を確認	
半 日前	◆大雨警報（浸水害） ◆洪水警報		⑧携帯電話の充電	
			⑨予備電池の充電	
	◆氾濫注意情報	●川の水位が上昇	⑩川の水位をネットで確認	★父⇒川の水位の確認担当
6 ～ 5 時間前	◆大雨警報（土砂災害） ◆氾濫警戒情報 ≪警戒レベル3≫ ★高齢者等避難：発令	●道路の冠水が発生	⑪通行止め情報をネットで確認	★父⇒通行止め情報の確認担当
			⑫避難しやすい服装の準備	
			⑬メールなどで避難情報を受信	
			⑭自宅等の危険度を判断	★父⇒家周辺の危険度を窓から確認
			⑮避難の開始を判断	★父⇒安全な場所への移動を決定
			⑯安全な場所への移動	★父⇒家族全員、親戚宅へ車で避難
4 時間前	◆土砂災害警戒情報 ◆氾濫危険情報 ≪警戒レベル4≫ ★避難指示：発令	●川の水が土手を超えて溢れそうになる	⑰指定避難所への避難	
0 時間	◆大雨特別警報 ◆氾濫発生情報 ≪警戒レベル5≫ ★緊急安全確保：発令	●川の水が氾濫	⑱避難に遅れたら自宅等の2階の安全な場所へ移動	

我が家の避難計画：作成ポイント

◆作成のポイント【家族で議論⇒問題点を整理】

- 1) いつ、何をするか時系列で整理（台風の場合・大地震の場合）
※気象情報や行政の避難情報を時系列で記入し、それに合わせて家族がとる行動を記載
- 2) ハザードマップなどで水害リスクをチェック
 - ア 居住地域で想定される浸水の深さなどを確認
 - イ 過去の洪水や地形の特徴を調査
- 3) 避難のタイミングを決定
 - ア 災害の警戒レベルごとに必要な行動などを具体的に記載
 - イ 高齢者や乳幼児など家族構成によって変化
- 4) 避難先を確認
 - ア 自宅の上階、親戚宅、避難所などを想定
 - イ 移動手段、かかる時間（所要時間）や経路を選定

◆作成に役立つツール

- ①国土交通省
小中学生向けキット「逃げキッド」などを公開
- ②ヤフー
アプリ「Yahoo! 防災速報」に「防災タイムライン」の機能提供

◆家族会議＝災害への備え、被害を最小化

- 1) 半年に一度の家族会議の実施
 - ア 地震に襲われた場合、どこに逃げるのか避難場所を確認
 - イ 家族との集合（合流）ポイントを決定
「〇〇小学校の南門の前」で「午前9時と午後5時に10分間待つ」
※電話がつかないことを前提に集合場所を決める。
 - ウ 自宅から避難したときは、玄関ドアに「逃げている。」と張り紙
- 2) 1週間生きる必需品を準備
 - ア 避難所ではなく、自宅で1週間生きるために必要なもの
※水・食料・トイレ
 - イ 忘れずに自宅に置いて置きたいもの
※卓上カセットコンロ・密閉袋（ジップロック）・風呂の水
- 3) 季節ごとに家庭で1日電気を使わずに生活
「訓練」することで何が足りないかが判明

我が家の避難計画

	行政等の情報	周囲の状況	主な備え	我が家の行動
5 ～ 2 日前	◆台風予報 《警戒レベル1》			
1 日前	◆大雨注意報 ◆洪水注意報 《警戒レベル2》			
半 日前	◆大雨警報(浸水害) ◆洪水警報			
	◆氾濫注意情報			
6 ～ 5 時間 前	◆大雨警報(土砂災害) ◆氾濫警戒情報 《警戒レベル3》 ★高齢者等避難：発令			
4 時間 前	◆土砂災害警戒情報 ◆氾濫危険情報 《警戒レベル4》 ★避難指示：発令			
0 時間	◆大雨特別警報 ◆氾濫発生情報 《警戒レベル5》 ★緊急安全確保：発令			